

フードデリバリーサービスのご紹介

アメリカのフードデリバリーサービスのアプリと言えば、Grubhub, DoorDash, Seamless, UberEats, Postmatesなどが人気で利用されています。ここでは日本でもお馴染みのUberEatsを例としてご紹介いたします。

こんな時に便利！

- ・英会話やチップの計算が苦手でもアプリでスマートにお買い物が完了
 - ・他人との接触を控えたいという時に安心
 - ・ホテルにあるメニュー以外の物が食べたい
 - ・体調不良で外出がづらい時、食事や市販薬も配達サービス
- ※宿泊部屋へのデリバリーが可能かは、宿泊先施設にご確認ください。



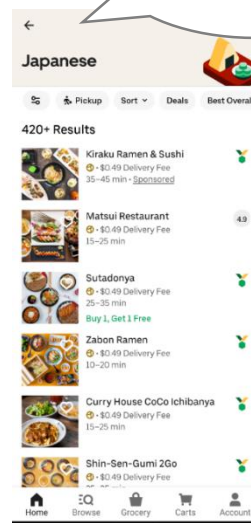
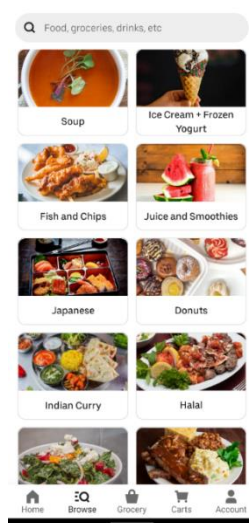
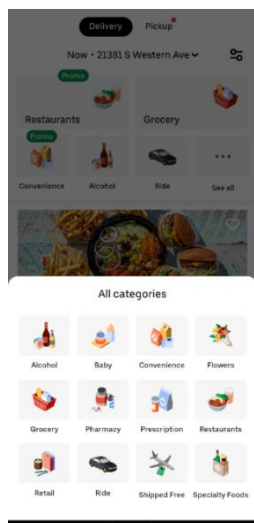
日本で利用されている同じアプリ上でご自身の所在地を変更するだけ。出張先にて配車サービス、お近くのレストラン、スーパー、量販店、薬局の配達サービスを利用することができます！

Uber Eats アプリのダウンロードはこちらから
→<https://about.ubereats.com/jp/ja/how-it-works/download-uber-eats-app/>

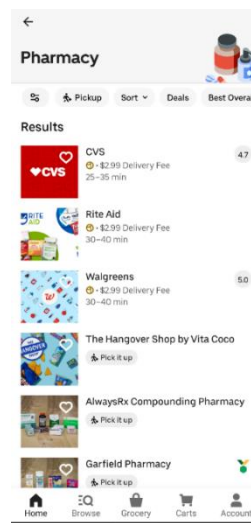


Uber Eatsは短期・中期出張者向けメディカルアシストサービス・ライトのスポンサーではありません。詳しいご利用条件についてはUberEatsのサイトをご覧ください。

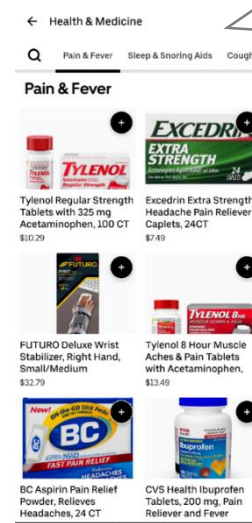
ロサンゼルス近郊でアプリ利用時のイメージ例



カテゴリーも店舗数も豊富！



市販薬の配達も可能！



お近くにPharmacyがなければ、Groceryを選択しMedicationカテゴリーから市販薬の購入が可能です。